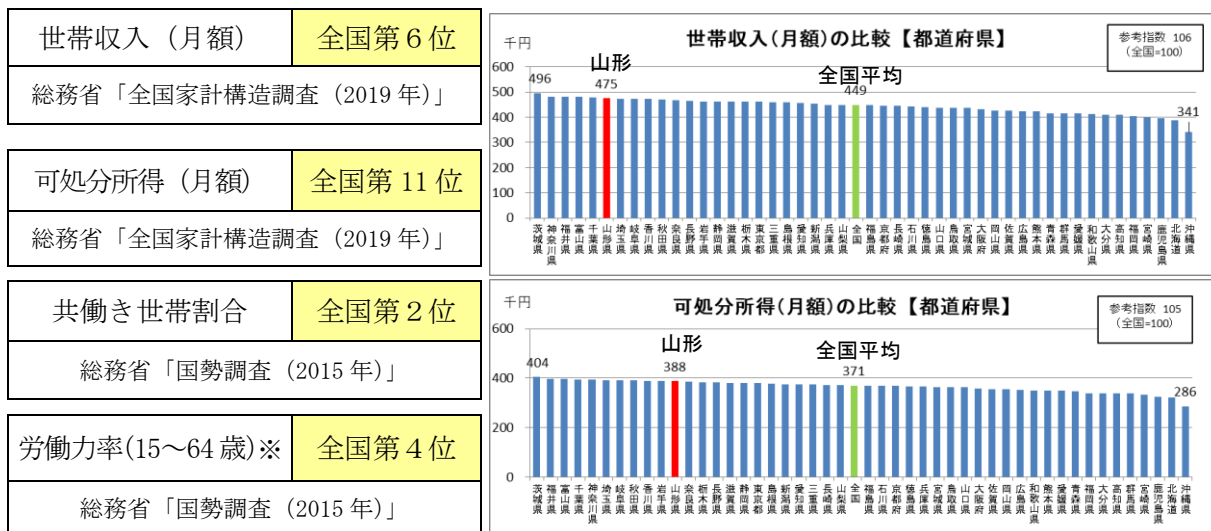


山形県における消費（コロナの影響と地域発展に向けたヒント）

1 山形県民の購買力 ～高い共働き率などを背景に、全国トップクラスの購買力～



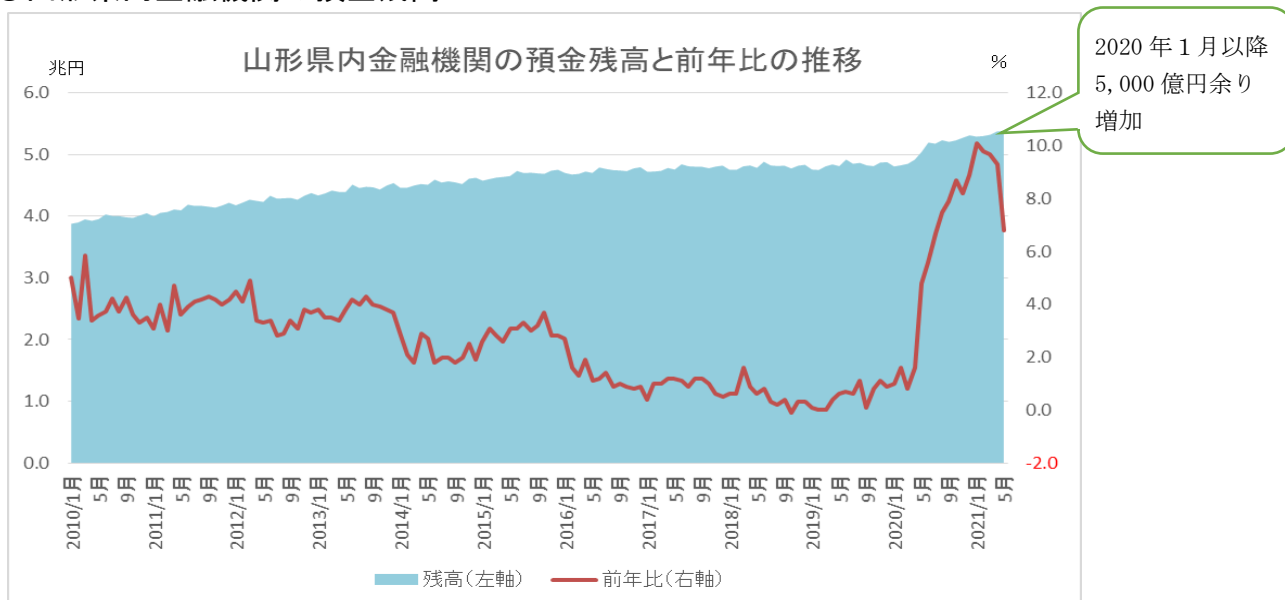
2 コロナ禍における消費動向（飲食・宿泊） ～消費減少で貯蓄が増加～

	2020	2015－2019 平均	増減
外食（食料）	126,330円	167,230円	△40,900円
宿泊料（教養・娯楽）	14,652円	25,774円	△11,122円
国内パック旅行費（教養・娯楽）	7,263円	34,975円	△27,712円
計	148,245円	227,979円	△79,734円

総務省「家計調査」より ※山形市の二人以上の世帯のデータ

仮に山形県内の全世帯支出が△8万円だとすると、消費の減少規模は約334億円
（世帯数41万7088世帯 … 総務省「2020年 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」より）

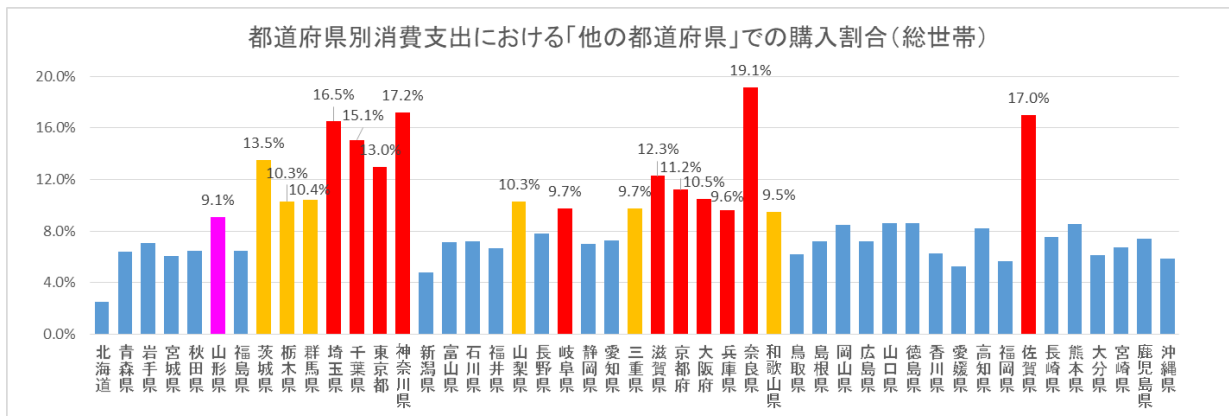
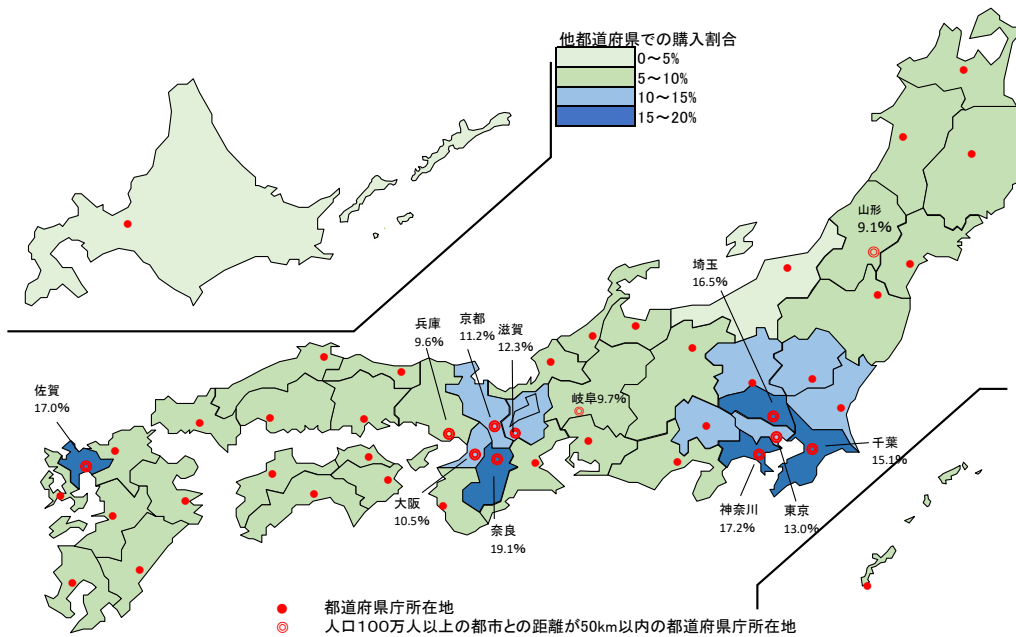
○山形県内金融機関の預金残高



日本銀行山形事務所資料より ※国内銀行（ゆうちょ銀行を除く）、信用金庫の山形県内店舗を合計

3 山形県の消費動向 ~実は「仙台経済圏」ではないのでは!??~

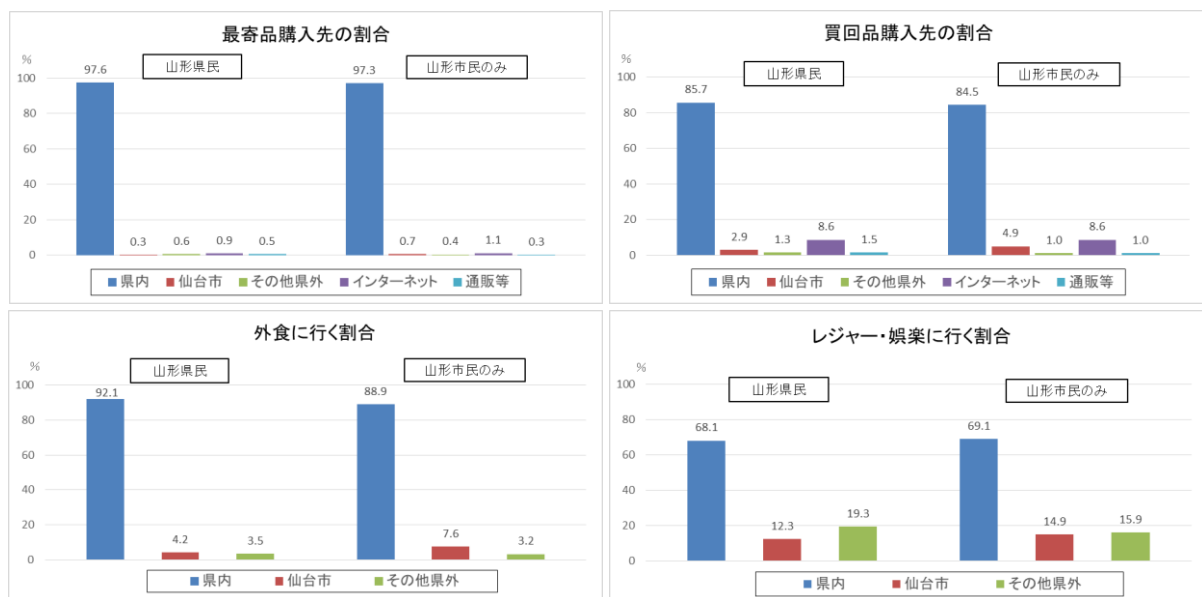
○都道府県別消費支出における「他の都道府県」での購入割合（総世帯）



総務省「2019年全国家計構造調査」より

※人口100万人以上の都市を有する都府県との都府県庁間距離が50km以内のものについては、赤のグラフ。
加えて、山形県よりも他県等での購入割合が高い県は、オレンジのグラフ。

○山形県民の購入先割合



「平成30年度 山形県買物動向調査報告書」より ※端数処理の関係で、合計が100にならない場合がある

※「最寄品」…日常的に頻繁に購入する商品 「買回品」…複数のものを比較検討して購入する商品